

バンド好きの心を一つに



谷 誠司 さん
Seiji Tani

加藤 学 さん
Manabu Kato

尾崎 裕崇 さん
Hirotaka Ozaki

川口 幸人 さん
Yukito Kawaguchi

とっとりおんがくざ
鳥取音楽座

「軽音楽」の大所帯

軽音楽と言っても、ロック、フォーク、ジャズ、ポップスとジャンルさまざまで、しかも小編成での演奏が多いためになかなか大きなグループにはならないものです。ところが鳥取には、来年10回目を迎えるコンサートを主催し、参加者が100名を超えるユニークな軽音楽の団体があります。「鳥取音楽座」です。

きっかけは国民文化祭

団体を結成することとなつたきっかけは二つあります。

た。一つは、とあるライブハウスの3周年記念を、そこに出演するバンドのみんなで祝おうという企画を立てたこと。もう一つは「平成14年に鳥取県で国民文化祭が行われましたよね。そこに軽音楽で参加するために、県域全体で団体を作る必要があったんです」と事務局担当の尾崎さんはそのきっかけを話します。「平成11年に鳥取音楽座を結成して、その年から『音楽日和』という、軽音楽のいろんなジャンルが集まったコンサートを始めました。それまでは自分の好きなジャ

ルの音楽以外とは交流がなかったけど、ロックの人がジャズを聴いたり、一匹狼のフォークの人も一緒に活動するようになったり、互いに刺激し合うようになりましたね」。

出演者も裏方

「バンド」が集まってできた団体なので、当然役員やスタッフもそれぞれが音楽に取り組んでいます。副代表の一人である川口さんは、「小さいころからロックが好きで、10年前に仲間とバンドを立ち上げたんです。バンドを始めればやっぱりライブがしたい

し、『音楽日和』にも出演したかったので、鳥取音楽座に加盟しました。活動しているうちにサポートの大事さにも気がついて、今では副代表という形で音楽座に深くかかわっています。『音楽日和』は、出演したい人が集まって実行委員会を作るんです。その中で、あんなことがしたい、こんなことがしたいという企画を出し合つて、それを集約して一つのコンサートにするんです」と話します。

老若が一緒に刺激に

「音楽日和」には大人のバンドだけでなく、中学生や高校生のバンド活動者も参加します。「高校生が大人のバンドの演奏を聴いたり、パンク(注1)を聴きに来た高校生がジャズを楽しんだり、そういうことが刺激になると思

《1月の番組ガイド》

..... 鳥取市行政番組

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週火・金・土

週2回の番組で、鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

- ▷ 若者議会
(若者会議による模擬議会)
- ▷ UJI ターン定住支援
- ▷ 湖南小中一貫校
- ▷ 鳥取市観光大学



平成19年1月に発足した『若者会議』

火曜日は、週末に行われたイベントなどを中心に放送します。

静止画文字情報『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週金・土



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばびよんびよんネット
自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

JA 鳥取いなばの今年の取り組みや、女性会、生活改善実行グループなどに、今年にける抱負を伺います。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

とんどや書初め、七草がゆなど各地の正月行事の話題や、公民館のサークル活動の様子などを紹介します。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

お知らせ

いなばびよんびよんネットの番組が地上デジタルテレビでご覧になれます。設定や操作方法など、詳しくは下記にお問い合わせください。

情報をお寄せください!

いなばびよんびよんネット ☎ (0857) 22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

番組はホームページでも紹介しています。

<http://www.inabapyonpyon.net>

2ch



メンバーが出演した鳥取県総合芸術文化祭<東部地区イベント>の、フォークコンサート『Dreams & Memories』

ます」と尾崎さん。「若い人だけじゃなくて、一度音楽を卒業した『オヤジ』にもステージを提供したいんです。就職や結婚で弾かなくなってしまうたギターをもう一度弾きたいという人はいっぱいいると思うんだけど、勇気が出ないですよ。9月に開催した『アコギ日和』というコンサート

トでは『オヤジミュージシャン復活コーナー』を作りまし。募集したら4人集まって、1曲ずつという約束だったんですが、本番はみんなノリ気になってしまっ、2曲ずつ弾いてもらいました」。「音楽日和」だけでなく、小さなステージも積極的にこなしています。「砂丘イリュージョンでは平成17年からライブを始めました。『音楽日和』とはまた違った交流がある」と尾崎さん。川口さんは「おじいちゃんが孫を連れてきてくれたりするんですよ」と付け加えます。

何歳になっても格好良く

鳥取音楽座のテーマは「誰でも音楽を楽しもう!!」。尾崎さんは「音楽は、テクニクや演奏レベルに関係なく、どんな風にも楽しめるんです。ぜひ音楽を生きがいにしたいですね」とその意図を語ります。

また、メンバーそれぞれが音楽に寄せる思いを語ってもしました。鳥取音楽座の代表である加藤さんは「何歳になっても格好良く生きてい。年取っても音楽をやっている一風変わったおじいさん

でいたいですね」。尾崎さんは「コミュニケーション。ミュージシャン同士のコミュニケーション、バンドとお客さんのコミュニケーション、それぞれが音楽にとって大事です」。川口さんは「熱く楽しく。演奏する格好良さを熱く表現したいし、お客さんにもそれを楽しんでもらいたい」。谷さんは「いつでもどこでも楽しく邪悪に。『因幡はヘヴィメタル(注2)の首都』をめざしたいですね」。

(注1) パンク：激しく勢いがあり、感情を爆発させるロック。

(注2) ヘヴィメタル：速いテンポと重厚なサウンドの、激しくテクニカルなロック。